

R7(2025)年度 学校教育目標(白丹小チャレンジプラン)基本構想

竹田市立白丹小学校

【基本方針】

日本国憲法、教育基本法、学校教育法の精神に則り、大分県教育委員会、竹田教育事務所、竹田市教育委員会の指導方針に基づき、民主的で平和的な文化国家及び社会の形成者として、心身ともに健全で個性にあふれ、知・徳・体の調和のとれた人格の形成をめざし、「学ぶ意欲」と「豊かな心」、「たくましい心身」をもった児童の育成を図る。

学校・児童の実態

- 全校児童15名。
- 全校4学級(1年 2・3年生 4・5年生複式学級 6年)
- 体育の研究校としての伝統があり体育的行事は継続している。
- 指示されたことや与えられた事について、真面目に取り組むことができる。
- 平均的な基礎学力はほぼ身についている。読解力について各学年レベルアップしていくことが必要。
- 自主学習等の内容について吟味し検討することが必要。
- 他校との交流等で他者と協働する機会を設け、他と関わる経験をできるだけ多く持てるよう機会を設定する必要がある。

- ＜竹田教育事務所＞
- 「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上
- 子どもの力と意欲の向上
- 1 学校マネジメントの深化(カリキュラム・マネジメント)
  - 2 授業改善の徹底
  - 3 体力向上の推進と健康課題への対応
  - 4 いじめ・不登校対策等の推進

- ＜竹田市教育委員会＞
- 竹田市学校教育ビジョン
- 「主体的に学び、未来を創造する子どもの育成」
- ・情報活用能力
  - ・協働的な学び
  - ・自分の考えを形成する力
  - ・主体的に学び続ける意欲

地域・保護者の実態

- 児童世帯数 11軒
- 竹田市街から12km離れた、のどかな地域である。
- 児童が在籍していない地区が数多く存在する。
- 放課後児童クラブが開かれており、ほとんどの児童が在籍し地域の協力を受けて子どもが育っている。
- 地域の方は、勤労生産学習や自然体験学習、竹田郷土学GT等学校に協力的である。
- 保護者は、教育活動に協力的で、PTA・行事等の集まり等100%に近い。
- 多くの家庭が学級・学校だよりやHPに関心を持ってきている。

白丹小学校教育目標

楽しい学校 大好き白丹  
～自ら学び 認めあい 共に生きる  
白丹っ子の育成～  
【校訓】 自主・協力



本年度の教育指導の姿勢

自分の考えを形成し表現する力の育成

※情報を整理し根拠を明らかにして自分の考えを持ち、他者に伝える力をつけよう。

めざす学校像

- 明るいあいさつが交わされ、子どもも教職員も笑顔あふれる学校
- 相互に認めあい、助け合える学校
- 子どもも教職員も共に学びあい成長しあう学校
- 安心・安全で落ち着いたきれいな学校
- 家庭や地域と連携し、開かれた学校

めざす子ども像

- 進んで学び、思いや考えを伝えられる子ども
- 豊かな心をもち、自分や仲間を大切にすることも
- 自ら考え、主体的に行動する子ども

めざす教職員像

- 深い愛情をもち、子ども理解につとめ、未来に導くことができる教職員
- 専門的知識・実践的指導力を高めるために研鑽しあい、子どもに確かな力をつけることができる教職員
- 組織の一員として互いを補完し合い、助けあい、力を合わせて課題解決に向かうことができる教職員
- 根拠に基づいた指導を行い保護者や地域の信頼に応えることができる教職員

進んで学ぶ子ども

- 学ぶ意欲をもち、進んで学習活動に取り組む子ども
- 自分の考えをもち、考えを伝えることができる子ども
- 情報を正しく読み取り、比較・検討しながら考えを深める子ども

自分や友だちを大切にする子ども

- 笑顔で、気持ちのよいあいさつができる子ども
- 違いを認め、誰とでも協力し合える子ども
- 自然を愛し、地域に誇りをもつ子ども

生活をより良くしようとする子ども

- 学びを生かし、生活をよりよくしようとする子ども
- 夢や目標を持ち、最後まで粘り強く取り組む子ども
- 健康や安全に関心を持ち、進んで体を動かし活動する子ども

具体的方策

- わかる・できる・楽しい授業
- ・めあて・課題・まとめ・振り返りを設定し、子どもの言葉で学習のまとめを行う。
- ・考える・伝え合う・見合う場等の場面の設定
- ・生徒指導の3機能を取り入れた授業づくり
- ・少人数を生かした個の学習状況等を把握した指導
- 学習規律の徹底と家庭学習・読書習慣づくり
- ・全校統一した学習規律の指導
- ・家庭学習の習慣 音読・自学(高学年)の徹底
- ・学年×10分+20分読書のよびかけ
- 総合的な学習の時間の充実(竹田郷土学)

- あいさつの徹底
- ・朝のあいさつ運動
- 縦割り班活動の推進
- ・さまざまな教育活動での縦割り班を活用
- 互いのよさを認め合う学級づくり
- ・人間関係プログラムの計画的な実施
- ・一人ひとりのよさを認め合い協力する学級づくり
- ・QU検査の活用と定期的な面談等の実施
- 道徳、人権・部落差別解消教育の充実
- ・自尊感情、自己有用感の醸成
- 竹田郷土学を推進し、地域を大切にする心の育成

- 朝の体力づくり(一校一実践)
- ・サーキット運動・マラソン・なわとびの取組み(1年間)
- めあてをもって臨みふりかえりを行うチャレンジ大会・持久走大会・なわとび大会
- 健康教育の推進
- ・保健だよりを活用した保護者への啓発
- 家庭読書のよびかけと実施

家庭との連携

- 家庭学習・読書習慣づくり
- 【学年×10分+20分読書】の確保

- 家庭でのあいさつの習慣
- 読み聞かせボランティア

- 「家庭読書の日」の設定
- 「学校が見えたら歩こう運動」のすすめ

開かれた学校づくりの推進

- 学校・家庭・地域との連携
- ・各種行事等学校公開日の設定
- ・学校だよりの発行 HPの活用
- 竹田郷土学の推進
- ・地域の「人、伝統、自然」の活用
- ・地域に出かける、地域から招く…各学年での実施
- 保・小・中の連携
- 児童支援に関する他機関との連携

教育環境の充実

- 安全・安心で美しい学校づくり
- ・そうじ指導の徹底
- ・定期的な点検
- 掲示板の活用
- ・学習に活用できる掲示物
- ・児童とキャッチボールできる掲示
- ・学習の足跡が残る掲示

教職員の資質・指導力の向上

- 校内研修・校外研修を活用した指導力向上
- ・校内研修の充実
- ・小規模校における教科担任制の導入
- ・ICTの活用やリモート授業等の活用による主体的に学ぶ態度の育成
- ・各種校外研修等への積極的参加
- 互見授業・提案授業による指導力向上
- 特別支援教育に関する研修及びUDの視点に立った授業実践
- 服務規律の徹底